

令和7年度第3回碧南市文化財保護審議会次第

日 時 令和8年3月24日（火）午後1時30分から

場 所 碧南市藤井達吉現代美術館 地下1階 多目的室B

1 あいさつ

2 報告事項

(1) 令和7年度事業報告について（資料1）

3 協議事項

(1) 令和8年度文化財展（案）について（資料2）

(2) 令和8年度文化財防火デー行事（案）について（資料3）

4 その他連絡事項

令和 7 年度事業報告

1 文化財保護審議会運営事業

(1) 定例会：3回開催

第 1 回 令和 7 年 6 月 3 日（火）

令和 7 年度事業計画（案）、令和 7 年度文化財展について等

第 2 回 令和 7 年 10 月 21 日（火）

歴史系企画展終了報告、貞照院経蔵保存修理工事の進捗状況報告、
鉄眼版一切経の一部盗難報告、文化財展の進捗状況協議、文化財防
火デー行事、視察研修（案）等

第 3 回 令和 8 年 3 月 24 日（火）

令和 7 年度事業報告、令和 8 年度文化財展（案）等について

(2) 臨時会：なし

(3) 委員視察研修 令和 8 年 2 月 13 日（金） 名古屋城（名古屋市中区）

西の丸御蔵城宝館施設見学、同館特別展「名古屋城本丸御殿の障壁画」観覧

2 市史資料調査事業

(1) 市史資料等の収集、整理、調査

(2) 市史資料等に関連する啓発事業

ア 市史資料収蔵品展の開催

(ア) テーマ 戦争と碧南

～子どもたち（未来）へ伝えたいこと～

(イ) 期 間 令和 7 年 8 月 5 日（火）～8 月 31 日

（日） 24 日間 観覧無料

(ウ) 会 場 文化会館

(エ) 内 容 戦後 80 年を機に、『碧南市戦没者顕彰
史』の内容を分析し、市などが所蔵する戦

時資料から、市の戦没者の全容を紹介した。 市史資料収蔵品展

イ 碧南市史料第 75 集「押え瓦―西三河南西部における糸車の重し」発刊

ウ 碧南市史料別巻 14 「隣り合って生きる 油ヶ淵を囲む村々の三百年」発刊



エ ^{こもんじょ}古文書入門講座の実施

(ア) 実施日 令和7年9月18日、10月2日・16日・30日(木)

(イ) 場 所 藤井達吉現代美術館

(ウ) 内 容 版元蔦屋重三郎の版本の仮名文字や大浜に関する古文書などを
解読した。

(エ) 参加者 13名

オ 出前講座等講師派遣

(ア) 第69回港湾都市協議会総会講演「衣浦港と碧南市 紡いだ歴史」

令和7年7月24日(金) 於碧南市芸術文化ホール 豆田係長

(イ) 出前講座「碧南の歴史を学ぶ ～近世・近代の新川地区～」

令和7年9月6日(土) 於大浜まちかどサロン 豆田係長

(ウ) 西端高齢者教室「西端のかたち ～油ヶ淵の成立と新田開発の歴史～」

令和7年9月10日(水) 於西端公民館 伊豫田調査員

(エ) 無我苑講座「碧南の歴史を学ぶ ～近世・近代の西端地区～」

令和8年1月23日(金) 於哲学たいけん村無我苑 豆田係長

カ 広報へきなん「碧南の歴史へのいざない」の連載(偶数月号)

3 文化財調査事業

市内文化財の愛護思想を普及啓発し、その理解と協力を得るため、文化財展、文化財防火デー行事等を行った。

(1) 文化財の調査・研究

ア 歴史的建造物調査

(ア) 実施日 令和7年9月17日(水)・18日(木)

(イ) 場 所 貞照院(霞浦町)

(ウ) 内 容 実測、写真撮影、調書作成等

(2) 文化財の保護に対する啓発事業

ア 文化財展の開催

(ア) テーマ 碧南が築いた学び舎

～地域が育てた碧南高校100年のあゆみ～

(イ) 期 間 令和8年2月7日(土)～3月5日(木)

23日間 観覧無料

(ウ) 会場 文化会館

(エ) 内容 令和8年で創立から100周年を迎える
県立碧南高等学校。その誕生から現代に至る歴史を、文書や写真資料で紹介した。



イ 文化財防火デー行事

(ア) 開催日 令和8年1月14日(水)

(イ) 場所 (神有)天満社(神有町)

(ウ) 内容 出火想定による消火訓練(通報・重要物件搬出)、消火等の訓練

(エ) 参加者 15名

(3) 市指定文化財の件数(令和8年1月31日現在)

種別	件数	種別	件数
有形文化財	39	有形民俗文化財	8
記念物	2	無形民俗文化財	3
		合計	52

その他碧南市内文化財件数

国指定重要文化財4件、県指定有形文化財6件、国登録有形文化財2件

4 指定文化財保存事業

指定文化財の保存のため、その維持管理、啓発及び伝統文化の継承に努める団体等に補助を行った。

補助対象事業	補助額	補助対象事業	補助額
称名寺文化財警報装置	192,456円	霞浦神社ケヤキの保存	133,650円
貞照院経蔵の修理	10,000,000円	絹本著色釈迦三尊像(重要文化財)の修理	320,418円
チャラボコ保存活動	200,000円	大浜中区からくり・囃子・三番叟伝統活動	90,000円
鶴ヶ崎区囃子・三番叟伝統活動	90,000円		

5 施設維持管理事業

大浜の歴史、文化を活用したまちづくりを進めるため整備した大浜陣屋広場、旧大浜警察署の維持管理を行った。



大浜陣屋広場



旧大浜警察署

6 歴史系企画展開催事業

- (1) テーマ 永井直勝没後 400 年 長田・永井一族
- (2) 期間 令和 7 年 5 月 2 4 日 (土) ～ 7 月 6 日
(日) 3 8 日間
- (3) 会場 藤井達吉現代美術館
- (4) 主催 市・市教育委員会・藤井達吉現代美術館
- (5) 協力 市文化財保護審議会

- (6) 観覧料 一般 5 0 0 円 高大生 4 0 0 円 中学生
以下無料

- (7) 内容 碧南出身の戦国武将・大名である永井直勝（1563-1625）の没後 400 年を記念し、直勝を生んだ三河大浜（現碧南市）の長田家の足跡と、直勝以降江戸幕府を支えた永井家の一族の活躍を紹介した。

- (8) 観覧者数 3, 4 5 0 人

(有料 1, 0 3 7 人 / 無料 2, 4 1 3 人、1 日平均 9 0. 7 人)

- (9) 関連行事

ア 記念講演会「戦国織豊期における大浜の神官武家長田氏の動向」

- (ア) 期日 令和 7 年 6 月 7 日 (土)
- (イ) 講師 村岡幹生氏 (中京大学名誉教授)
- (ウ) 聴講者 7 1 人



歴史系企画展

イ 長田・永井サミット

(ア) 期日 令和7年6月22日(日)

(イ) 報告者・パネラー

佐藤友理氏(岐阜市歴史博物館学芸員)、千田康治氏(高槻市立しろあ
と歴史館長)、山下登氏(郷土史家)、豆田誠路(市文化財課)

(ウ) 聴講者 100人

ウ ワークショップ「検証！昔の碧南の地形」

(ア) 期日 令和7年6月29日(日)

(イ) 講師 藤井達吉現代美術館 教育普及担当

(ウ) 参加者 21人

エ 学芸員によるギャラリートーク(期間中7回開催) 参加者 計184人

協議事項(1) 令和 8 年度文化財展（案）について

- 1 会期 令和 8 年 8 月 1 日（土）～ 8 月 3 0 日（日）
- 2 会場 碧南市文化会館 1 階 展示室 1
（展示室 2 で市史資料収蔵品展「スポーツと碧南」（仮題）を同時開催予定）
- 3 企画案
 - (1) テーマ 加藤まさみが見た昭和のへきなん（仮題）
 - (2) 趣 旨 加藤正巳氏（1932-2017）の原画（市秘書課等が所蔵）を紹介し、描かれた内容に沿った市史資料を併せて展示することで、昭和の碧南の歴史を再構築する。
 - (3) 出品候補資料
 - ア 加藤正巳氏の原画 2 4 点（額装 53.1×64.1cm、市所蔵）
 - (ア) 「加藤正巳 昔の碧南 9 景」

①伏見屋付近	⑥大浜海岸
②鷺塚から神有、二本木方面を見る	⑦新須磨海水浴場
③碧南高校	⑧新明石海水浴場
④棚尾町の花街	⑨玉津浦海水浴場
⑤応仁寺・油ガ渕	
 - (イ) 「新川地区 1 5 景」（仮題）

①松江	⑨いたち地藏まつり
②羽久手グラウンド	⑩永楽町
③新川駅	⑪新川銀座商店街
④あん湖（貯木場） 新川河口	⑫懐かしの新盛座
⑤新川キネマ通 料亭丸仙	⑬衣浦温泉
⑥高取道	⑭浜劇
⑦鶴州楼	⑮碧南音頭
⑧新川キネマ	
 - イ 原画の内容に関連した市史資料（写真データ）や現在の写真等
 - (4) 参考資料 加藤正巳氏について

(5) 展示イメージ

〈例1〉「応仁寺・油ガ淵」 ((7)⑤)



原画



画像 (『西端小学校百年誌』1973年)

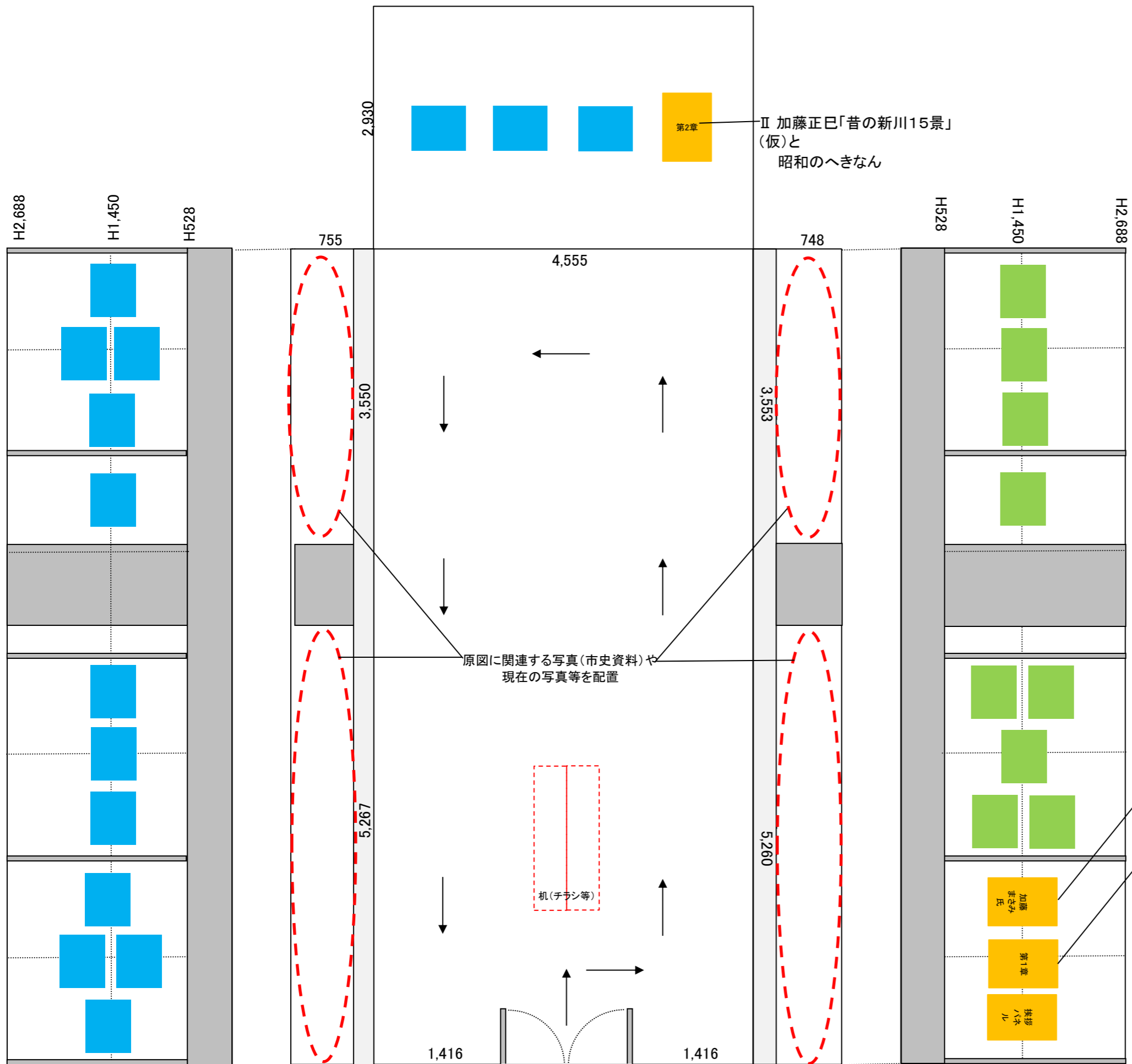
〈例2〉「玉津浦海水浴場」 ((7)⑨)



原画



画像 (市史資料)



II 加藤正巳「昔の新川15景」
(仮)と
昭和のへきなん

原図に関連する写真(市史資料)や
現在の写真等を配置

機(チラシ等)

加藤まさみさんと
広報へきなんとの関わり

I 加藤正巳「昔の碧南9景」
と

原画
(額装)
パネル

TITLE 令和8年度文化財展(案)		
加藤まさみが見た昭和のへきなん(仮題)		
SUBJECT 碧南市文化会館 1階 展示室1		
碧南市教育委員会文化財課	SCALE 1/50	No. 20211025

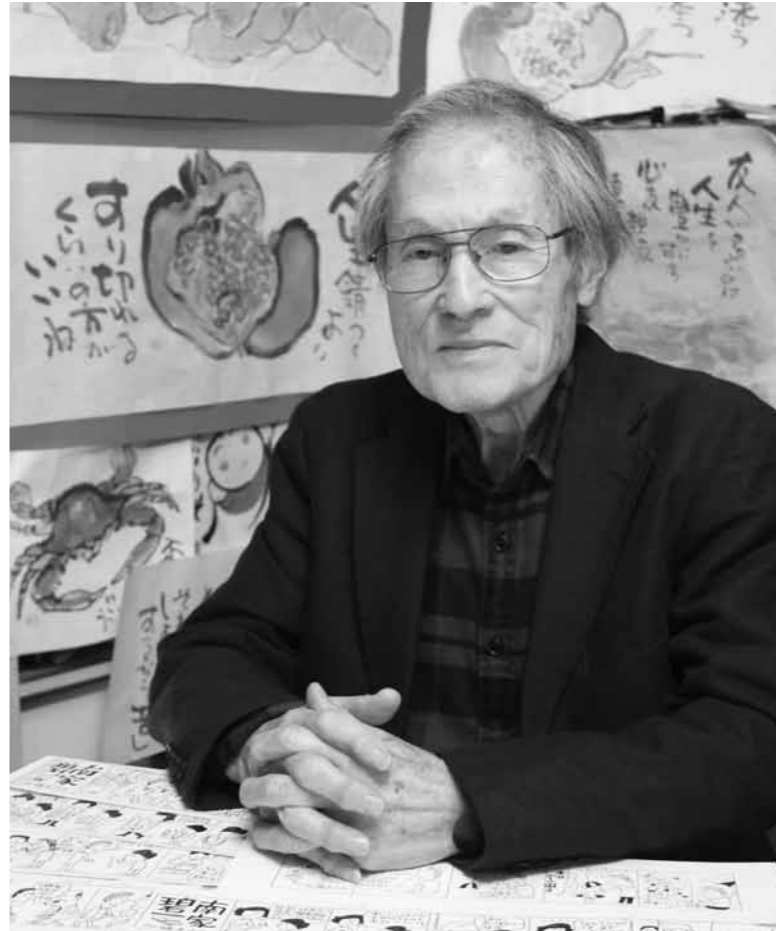
碧南一家連載50周年記念特集

祝 現役連載記録日本一



加藤まさみ先生とともに
50年の歩みを振り返ります

本紙にて連載中の四コマ漫画「碧南一家」が、今号で51年目を迎えます。連載50年という記録は、現在日本で連載中の漫画のなかで最長記録（連載終了作品を含めると3位）となり、まさしく偉業です。節目を迎えたこの機会に、碧南市が誇る漫画家・加藤まさみ（本名・正巳、85歳）先生に、お話を伺いました。



●碧南一家について

碧南一家は現在、毎月1日号に掲載しているババ、ママ、ボクの3人家族の日常がユーモアを交えて描かれる4コマ漫画です。昭和42年2月1日号から加藤先生が「碧南一家」を担当して以降、広報へきなは月1〜3回発行と変遷し、掲載頻度も月1、2回と切り替わってきました（現在は月2回発行、月1回掲載）。総掲載回数は今号をもって947回に上ります。「広報紙には政治や宗教、下ネタは

載せられないからね。そこでオチを考えるのが難しいですよ」と語る加藤先生。制約のもと、碧南市や社会に関わる題材を取り上げ、描き続けてきました。ある時期には、市側から3月の題材は確定申告について描いてほしいと依頼があり、その状況が5年ほど続いたこともありましたが、「最後のほうはネタが全く浮かばなかったです。振り返ると一番大変だったのはそれかな」と苦笑い。それでも50年間、一度も締切に遅れることなく原稿を提出していただきました。心より感謝申し上げます。

長寿漫画年表（敬称略）

順位	タイトル（作者）	年数	掲載誌
1	仙人部落（小島功）	57年11か月（昭和31年10月～平成26年8月）	週刊アサヒ芸能
2	小さな恋のものがたり（みつはしちかこ）	52年4か月（昭和37年6月～平成26年9月）	美しい十代ほか
3	碧南一家（加藤まさみ）	50年1か月（昭和42年2月～）	広報へきな
4	のらくろ（田河水泡）	50年0か月（昭和6年1月～55年12月）	少年倶楽部ほか
5	超人ロック（聖悠紀）	49年5か月（昭和42年10月～）	少年キングほか
6	タンマ君（東海林さだお）	49年2か月（昭和43年1月～）	週刊文春
7	ゴルゴ13（さいとう・たかを）	48年4か月（昭和43年11月）	ビッグコミック

※色字は連載中の作品です。

加藤先生の幼少期からの愛読書「のらくろ」の連載記録を超え、現在も記録を更新し続けています。

●現役連載日本一

—このたびは連載50周年おめでとうございます。現役連載中の漫画としては日本一という記録について、率直な気持ちをお聞かせください。

日本一ですか。今聞いて初めて知りました（笑）。つい先日、長いことやってきたなと振り返ってみて、節目の50年が近いと気付きましたからね。50年という記録は目標ではなく、結果だということですね。

夢中で描き続けてきましたからね。これだけ続けてこられたのは皆さんの応援や家族の支えあってですから、感謝の気持ちでいっぱいです。

●縁から続いた碧南一家

—漫画家になるまでの経緯についてお聞かせください。

生まれは一色町（現西尾市）ですが、小中高校時代は碧南市で過ごしました。昔から絵を描くのが好きで、漫画「のらくろ」「冒険タン吉」などを読んで育ちました。碧南高校では美術部と新聞部を兼部したりして、卒業後は碧南市内の印刷会社でデザ

インの仕事をしてましたね。そんなとき、当時の市役所の秘書課長さんから四コマを描いてほしいと直接依頼があったんです。

—直接ですか。それはどういった縁からでしょうか。

僕が碧南高校にいたころ、その秘書課長さんは碧南高校の教員をしてみえたんです。僕が新聞部で、紙面に挿絵や四コマを載せていたのを知っていて、声をかけてもらいました。卒業後も働きながらも漫画のことがばかり考えていて、雑誌社が主催する「こま漫画の公募企画」に応募したりと、絵を描き続けていました。何度か入賞して、描くことが面白くなっていったところでした。

—最初は碧南一家ではなかったと聞いていますが。

はじめは「ホーブさん」という四コマを約1年、次に「碧くん」と南さん」を2年くらいで計3年くらい連載しました。そこで一旦、ほかの漫画家に代わって「碧南一家」の連載が始まったんですが、3〜4年したころにその人が音信不通になっちゃったんです。市役所の職員さんが困りながら僕に電話をかけてきたのを覚えてます。

碧南一家というタイトルは、ちょっと個人的に思うところはあったんですが（笑）、市民の皆さんに浸透していたということ、タイトルそのまま僕が代役をつとめ、50年間続きましたね。



△入賞した自身の作品を指す加藤先生



△加藤先生に代わって第1回目の碧南一家（昭和42年2月1日号）

碧南一家

加藤まさみ



1番のお気に入りだと話す平成12年10月1日号の掲載作品。市内に移住した外国人の子どもたちがお祭りでチャラポコをたたくという内容です。「少子化問題とチャラポコという三河の伝統芸能の国際化のつながりをうまく表せたと思う」と加藤先生。



オチがないことがオチ
そんなときもありました



△平成24年11月1日号の4こま目
※市ホームページ (<http://www.city.hekinan.aich.jp/hisyojohoka/kouho/manga/manga.htm>) で平成13年以降の掲載作品を公開しています。

●作風のルーツ

「色々な漫画を読んでこられたというのですが、先生の作風に影響を与えたものはありますか。」

ありますよ。僕が一番勉強になったのは「フクちゃん」ね、横山隆一さんの。あと「サザエさん」、この2つが僕の原点です。サザエさんの作者は長谷川町子さんという女性ですから、男性にはない目線で描かれているんですよ。家庭のなかにあることとか、男の僕では気づかないような切り口で色々なネタを盛り込んでくる。いろんなヒントをもらいました。

今はストーリーのある劇画ものが主流で、四コマ漫画は減ってきていますが、だからこそクスツと笑える四コマを僕は大切にしたいと思っています。「笑いがなければ漫画じゃない」が持論です。

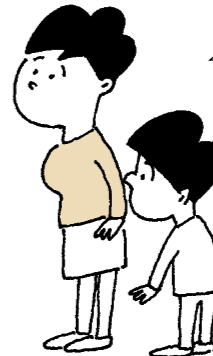


△愛読書「フクちゃん」

碧南一家以外にも、市に関する色々なイラストを描いてきたんだね



衣浦温泉ね懐かしいわ



漫画家はアイデアが命

漫画の題材は社会で話題になっていることなどの時事ネタを基本としているため、テレビや新聞から得られる情報に常に敏感でありたいと加藤先生は語ります。何時間も机で考えても構想が思い浮かばず、苦しむこともあります。そんなときは執筆をいったんやめ、日常のなかでふとアイデアが浮かんだときにいつでも記録できるよう、メモを常備しています。



●今後のこと

「今後も碧南一家を続けていただきますでしょうか。」

碧南市にはずいぶんお世話になりましたからね。健康でいられるうちに続けたいです。昔に比べて握力がなくなってきたり、描く線の力強さがなくなってきました。でも碧南一家の執筆は生活の一部ですから、もうやめてくれと言われたい限りは(笑)。

「節目を迎えて、これからの目標はありますか。」

日本最長記録はあと8年ですか(2ページ参照)。そのころは僕は93歳だからね、あと1年くらいなら何とかなるかもしれないけど、どうだろうね。記録よりもまずはこの50年を1冊にまとめたいですね。今はそれが目標です。

「今後ともよろしくお願いします。加藤先生、ありがとうございました。」



令和 8 年度文化財防火デー行事実施要項（案）

- 1 期日 令和 9 年 1 月 2 6 日（火） 午後 1 時 4 0 分から（消火訓練は 2 時から）
- 2 場所 西端地区の社寺（予定）
- 3 内容
 - (1) 消防用設備等点検（午後 1 時 4 0 分から午後 2 時まで）
 [衣浦東部広域連合碧南消防署員、立会：会場関係者]
 消防用設備等の点検及び文化財管理状況を確認する。
 - (2) 消火訓練（午後 2 時から午後 2 時 4 0 分まで）
 [衣浦東部広域連合碧南消防署員、会場関係者・地区住民]
 出火想定による消火訓練
 （通報、重要物件搬出、消防車出動、放水・消火等の訓練）
- 4 日程（進行の具合により、予定時間が多少前後することがあります。）
 - (1) 消防用設備等点検

1 3 : 4 0	消防用設備等点検（衣浦東部広域連合碧南消防署）【簡易】
1 3 : 5 0	点検結果報告（同上）
 - (2) 消火訓練

1 4 : 0 0	あいさつ（碧南市教育長）、消火訓練の説明 1 1 9 番通報、重要物件（市準備）持ち出し（会場関係者）
1 4 : 1 5	消防隊による消火（放水）（衣浦東部広域連合碧南消防署）
1 4 : 2 5	消火器による消火訓練（衣浦東部広域連合碧南消防署、参加者）
1 4 : 3 5	講評（衣浦東部広域連合碧南消防署） あいさつ（碧南市文化財保護審議会会長）
- 5 参加予定者
 - (1) 会場関係者・地区住民
 - (2) 衣浦東部広域連合碧南消防署職員
 - (3) 碧南市文化財保護審議会委員
 - (4) 碧南市教育長・教育部長、文化財課職員

文化財防火デー行事実施場所一覧

年度	地区	防火訓練	文化財調査	実施日
平成元年度	新川地区	山神社		
平成2年度	大浜地区	称名寺		
平成3年度	棚尾地区	妙福寺		
平成4年度	旭地区	池端蓮成寺		
平成5年度	西端地区	応仁寺		
平成6年度	新川地区	山神社		
平成7年度	大浜地区	海徳寺		
平成8年度	棚尾地区	妙福寺		
平成9年度	旭地区	遍照院		
平成10年度	西端地区	応仁寺		
平成11年度	新川地区	山神社		
平成12年度	大浜地区	熊野神社(上の宮)		
平成13年度	棚尾地区	妙福寺	中区稻荷社	
平成14年度	旭地区	池端蓮成寺	鷲塚天満神社	H15.1.24
平成15年度	旭地区	貞照院	伏見屋稻荷神社	H16.1.23
平成16年度	西端地区	康順寺	同左	H17.1.26
平成17年度	新川地区	白山社(久沓)	同左	H18.1.26
平成18年度	大浜地区	大浜稻荷社	同左	H19.1.26
平成19年度	棚尾地区	八柱神社	同左	H20.1.25
平成20年度	大浜地区	稻荷神社(前浜)	平等寺(前浜)	H21.1.23
平成21年度	西端地区	栄願寺	同左	H22.1.26
平成22年度	新川地区	専興寺	専興寺、秋葉社(松江町)、稻荷社(松江町)	H23.1.26
平成23年度	大浜地区	大浜熊野大神社	妻薬師堂	H24.1.26
平成24年度	棚尾地区	安専寺	同左	H25.1.14
平成25年度	旭地区	貞照院	同左	H26.1.23
平成26年度	中央地区	法城寺	同左	H27.1.27
平成27年度	西端地区	八剣神社	同左	H28.1.27
平成28年度	新川地区	精界寺	同左	H29.1.24
平成29年度	大浜地区	林泉寺	同左	H30.1.26
平成30年度	棚尾地区	光輪寺	同左	H31.1.24
令和元年度	旭地区	川端蓮成寺	同左	R2.1.22
令和2年度	中央地区	中山神明社	(中止)	R3.1.26
令和3年度	西端地区	応仁寺	同左	R4.1.19
令和4年度	新川地区	浅間社	なし	R5.1.20
令和5年度	大浜地区	平等寺	なし	R6.1.24
令和6年度	棚尾地区	妙福寺	なし	R7.1.16
令和7年度	旭地区	神有天満社	なし	R8.1.14
令和8年度	西端地区			R9.1.26

地区名	開催回数
西端地区	7
新川地区	7
中央地区	2
旭地区	7
大浜地区	8
棚尾地区	7
計	38